

2025年
新年拡大合併号

表紙は見開きです

全厚労ニュース

全 国
厚 生 連 労働組合連合会
〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月20日
<https://www.zenkouro.org/>

巳年 熱い想いは、ヘビ〜級

あけましておめでとうございます。縁起が良いとされる年男・年女の役員の皆さんに、2025年の労働組合の抱負をアピールして頂きました。医療労働者が元気に働き続けられる職場を目指して、今年も全厚労“団結”してがんばっていきましょう。本年も全厚労ニュースをよろしくをお願いします。

広島



村上 直己
尾道支部・書記次長

36歳年男。仕事も働き盛り。プライベートも子育て真っ盛り。どちらも譲らず行っているようワークライフバランスの向上を目指してやっています！

岐阜



谷川 堅哉
西濃厚生病院支部・支部書記長

本年度の岐厚労の要求である「待機手当の新設について」強い気持ちで勝ち取りたいと思い、プラカードの言葉としました。

茨城



篠崎 廣
土浦支部・支部書記長

去年はベースアップ400円でしたが、更なるベースアップに挑戦したいです。また、個人的には臨床検査技師として11年目を迎えるため、新たな取り組みにも挑戦したいです！

秋田



小松 宝広
由利支部・中央執行委員

巳が脱皮を繰り返して成長するように、職場環境の改善に向けて一歩ずつ前進できるよう、精一杯努力してまいります。

北海道



富樫 智裕
札幌支部・中央副執行委員長

組合員一人ひとりが主体性をもって組合活動に参画していただけるように、内側から活性化を図り、より魅力ある組織の実現を目指します。

富山



平井 身江子
高岡病院支部・中央執行委員

中央執行委員となり、今まで以上に自分の働く環境や権利など考えるようになりました。皆の思いを聞き、少しでも皆が元気で働き続けようと思う職場環境に近づけたらと思います。

京田 壮司
滑川病院支部・書記次長

書記次長となり、組合活動を通して自分たちの権利や職場環境について学ぶことができました。これからも気の合うスタッフと長く働き続けられる職場環境を目指して、組合活動に取り組んでいきたいと思っています。

新潟



谷口 好子
佐渡支部・執行委員

頑張っている仲間が、自分の職種に誇りを持って働けるように。そして、資格を持っている人は、自分が、その職種になりたいと思った初心の時のようなモチベーションで働き続けられるように現場の声を伝えていきたいから。

徳島



大和 崇史
徳厚労・副執行委員長

賃上げ気運が溢れていますが、医療業界では経営者も労働者も物価上昇に対応していない診療報酬に手を焼いています。巳年は挑戦や変化に前向きな姿勢を示す年と言われており、自分や組合は何かできるか考えて、巳年にあやかって、変化を恐れず、思い切って挑戦するしかありません。

三重



近藤 克哉
鈴鹿厚生支部・中央執行委員

～NEXUS～は繋がりという意味です。三厚労の青年部長をしていた時以来の組合役員となり、横の繋がりをしっかりとしていきたいと思っています。組合員の皆さんが働きやすい職場作りを目指し、奮闘したいと考えています。宜しくお願いします。

長野



宮本 奈々
北信支部・青年部事務局長

日々、たくさんの事を学びながら働いています。大変なこともありますが、そんな中でも笑顔を忘れず、スタッフとの挨拶やコミュニケーションを大切にしながら健康第一に働いていきたいです。今年もよろしくお願いします！

新潟



太田 智英
糸魚川支部・副執行委員長

人は一人ひとり違うもの、様々な考えがあつていい。大きな目標を据えることで、それこそ様々な見方や方法で目標に向かうことができることを目指したい。

誰のための厚生連医療なのか

第41回医療研究集会in東京

11月15～17日にかけて全厚労第41回医療研究集会を開催し、13県79名（内OL8名）が参加しました。今年のサブテーマは「誰のための厚生連医療なのか」です。地域との関係の中で育まれてきた厚生連医療を担う私たちがもう一度その意味を再確認しようと設定しました。

第8次医療計画を学ぶ 厚生連の未来を語ろう

1日目はオンライン併用開催。佛教大学准教授の長友薫輝先生をお呼びし、「今、地域医療に必要なこと」第8次医療計画から考える人口減少と医療格差」と題しご講演頂きました。1980年代の「医療費亡国論」から続く国の公的医療費の抑制手法や、診療報酬・介護報酬の動向、第8次医療計画や地域医療構想、それに伴いそこで働く労働者への影響などを解説頂きました。長友先生の講演で印象に残ったフレーズは「撤退戦」。農村地域・へき地医療を担う厚生連の使命と重要性を強く感じさせられました。



基調報告
湯瀬直樹事務局長

ました。

湯瀬直樹事務局長の基調報告では、今集会のサブテーマ「誰のための厚生連医療なのか」について、厚生連の病院は地域に根差し地域との交流を大切にしながら医療や介護を提供してきましたが、近年、現場の状況も変化し本来の厚生連医療を提供することが難しくなってきたという、もう一度その意味を考える必要がある

岐阜の医療再編と 徳島合併時の教訓から学ぶ

特別報告は2本。1本目は岐阜県内の5つの二次医療圏での医療資源の偏在や厚生連の状況、再編による地域住民の声や職員の課題を組合の立場からご報告頂きました。

2本目は徳厚労の天野智行副委員長より、「病院合併の経験／吸収合併される側の立場から」と題し、旧阿南共栄病院と旧阿南医師会中央病院の合併時



長友薫輝先生
3日間
ご参加いただきました

「組合員専用」ページで
レジメ・動画が
視聴可能
(パスワードは
各単組本部まで)



第1分科会 医療計画を学ぶ

は岐厚労の佐藤雅俊中央執行委員長より、岐阜県厚生連での医療再編について、岐阜県内5つの二次医療圏での医療資源の偏在や厚生連の状況、再編による地域住民の声や職員の課題を組合の立場からご報告頂きました。



第2分科会 鈴鹿厚生病院の社会技能訓練をやってみよう！



第3分科会 紙人形劇を終えて

コロナ禍以前の様に3日間全てを現地参加できる形式での開催とした今集会では、参加者の交流



全厚労

るのではないかと議論から設定したと本集会の意義を強調しました。私たちが医療・介護・福祉の現場で働くプロであると同時に、社会の一員であることを自覚しながら、「誰のために」働き、行動しているのか。そのために「何をしなければならぬのか」。私たちが力を合わせるために、そもそも「何が必要なのか」

2日目は現地開催でスタート。安本真理子運営委員長が、医療研究集会の紹介と共に、医療研連の意義と課題、これまでの歩みを紹介しました。

第2分科会テーマは安心・安全の医療は使命感だけでは守れない！やっぱ大切にした「働きがい」厚生連医療の未来のためにバトンをつなぐ。3つのレポートとして、茨厚労

第3分科会テーマは病院を地域に開く／取り戻そうコミュニケーション。熊総労の新歓交流会と神厚労の退勤調査の取組200人

悩みとストレスについてディスカッションを行い、茨厚労土浦支部の予防医療センターで行われている我（われ）がまま教室（集団教室）の取り組みと、長厚労佐久支部・下伊那支部から長野厚生連のうたごえ活動や「第38回医療のうたごえ全国祭典inながの」の取り組みについて2本のレポートを報告。「厚生連の成長カッション」をして初日の思い出フォトコンテストを行いました。

を通し、各分科会で活発に議論し、真剣に各県の状況を伝え合い質問し合う場面が多くみられました。



徳厚労
天野智行副執行委員長



岐厚労
佐藤雅俊中央執行委員長

じっくりじっくり語り合う 4分科会それぞれの特徴

の経験から、当時の職員の声や、組合解散と徳厚労加

入時の教訓などを報告して頂きました。

2日午後半と3日目は4分科会を開催。第1分科会のテーマは医療労働者と地域とのかわり／視野を広げて地域を見よう。長友先生に助言者として参加いただきました。地域医療を守る住民運動の報告や、地域医療構想・第8次医療計画の学習、医療ソーシャルワーカーから見た地域の医療・介護などについてグループワークを行いました。

アンケートの特別報告や、コミュニケーションについての事前アンケート報告から川柳作成を行いました。また第3分科会恒例の紙人形劇の練習を行いまとめ集会で発表しました。



第4分科会
フォトコンテスト最優秀賞

部員募集中です



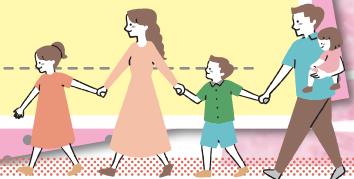
佐久総合病院音楽部のお2人

茨城



病院祭

厚生連病院では地域医療に根差した住民との交流を大切にしています。全国各地で行われている病院祭を一部ピックアップして紹介します。



茨厚労取手支部で署名を取りました。病院祭り「ふれあい祭り」が7年ぶりに開催され、その一角を借りての行動です。
来場者からは「医者と看護師って足りないの？」など質問を受けたりしながら、105筆集めました。
久しぶりの開催で、初めて参加する職員も多いなか、笑顔あふれるお祭りになったと思います。(茨城：藤田周 記)

鈴鹿厚生病院では第32回病院祭を開催致しました。
当日の天気予報は雨でしたが、汗ばむ程の好天で開会を迎える事が出来ました。
会場では病院祭名物亀レース、焼きそばなどの模擬店販売、チャレンジゲームなどのアトラクション、作業療法体験や感染予防ブースなど多くの来場者の方で賑わいを見せていました。
また本年度はキッチンカーの出店やB型事業所の工芸品の販売、ワークショップの開催が行われ、例年と違った賑わいもありました。
組合でも共催し今年は署名活動も行い、来場者から約100名分の署名も書いていただきました。来場された方々からは「楽しかった」「また来たい」との有り難いお声をいただきました。(三重)

三重



長野



長厚労佐久病院の病院祭は有名ですね。演劇や歌声コーラスなど文化的な催しで来場者と一体となって盛り上がっている様子が伺えます。



新しい下肢静脈瘤治療

新春座談会

つながりを深く強く、大幅賃上げと組合拡大へ！

4人の委員長が語るこれまでの到達と25春闘への決意

座談会出席者

進藤 侑 (秋厚労中央執行委員長)
宇留野正志 (茨厚労中央執行委員長)
岡野 元保 (三厚労中央執行委員長)
由比 智一 (高厚労執行委員長)
岩本 一宏 (コーディネーター・全厚労中央執行委員長)

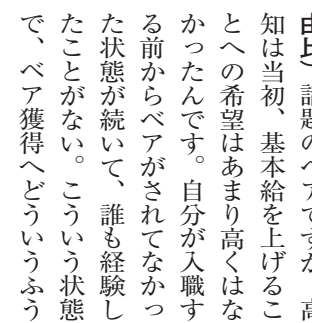


岩本 一宏

岩本 みなさん、新年おめでとうございます。

高知

ベア2.5%にこだわり 9月末決着・6月週及



由比 智一

由比 話題のベアですが、高知は当初、基本給を上げることに希望はあまり高くはなかったんです。自分が入職する前からベアがされなかった状態が続いて、誰も経験したことがない。こういう状態で、ベア獲得へというふう

に切り込んでいくのが非常に悩ましい状況でした。高知は比較的2、30代が多くて、ずっと不況で育ってきた世代なんです。その時に、徳島と広島がベアを確約させたっていうのを聞きました。そこで高知でもと思い、春闘でベア要求しましたが、案の定、やっぱり手当支給額というのが最初の回答でした。でも高知の賃金は全国的に見ても低いし、



ベア獲得のビラを配る由比さん



高知の「お知らせ」より

1 ストップ評価料を活用した賃上げを獲得したものの、24春闘での年末一時金が前年割れになったところもあり、25春闘は厳しい闘いが予測されています。

この厳しい情勢を乗り越えていくには、まずは24春闘の教訓や反省点を踏まえて、25春闘にそれを全て活かしていくことが必要かと思えます。政府目標とされている2%以上のベアを勝ち取るために、どういう闘いを皆んなでやっていくのか。たまには西日本から、話を聞いていきたいと思っています。

高知の組合員というのは、全従業員約400人余りから言ったら、過半数にも満たない90人余りなので、組合活動に対して冷ややかというか、あまり乗り気ではない。これまでも団交しても全く来ないとか、来ても数人という感じの団交でしたが、今回この賃金交渉で30人ぐらいが集まってくれて、関心が高くな

三重

正規にも非正規職員にも 喜ばれる成果へ



岡野 元保

岡野 この春闘ですが、4点について要求しています。1 1月目は賃上げの要求、2 2月目は夏期一時金、3 3月目が定期昇給の確約、4 4月目が特別手当の4点です。その中で、この春各県からもベア出たよという話を聞いていて、三重でもベアをというのを本部側に要求はしていたのですが、結果的には、ベア相当分を手当で支給するというような回答がありました。

手当回答で、皆さんがっかりしていたところはあったの

で、6600円で要求しました。時間は掛かりましたが、なんとか会もそれでいいんじゃないかなと。ただこれは基本給でも、本給ではなくて退職金に反映しない加給という形での実現でした。また決定は9月末でしたが、10月給与で6月給与と夏季賞与を含めて週及させたことも粘り強くベアにこだわった結果だと思っています。25年春闘では、本給に組み込めるように頑張っていきたいと思っています。

岩本 高知の機関紙「お知らせ」が非常に役立ったと聞いています。このお知らせを配ったときの組合員とか、他の職員の方々の反応はいかがだったんでしょうか。

由比 やっぱりありがたいという言葉はかけていただきました。賃金だけでなく、こ

が、何かあれば、教えて下さい。岡野 三重は8支部があり、中央執行委員会には最大33名の役員が参加し、それぞれの意見を取りまとめていくというのがすごく難しいです。しかし書記長とう一人中心になつてくれる人が以前からいて、彼らが僕の助けをしてくれたり、中心になつてやってくれている感じがします。また看護集会や新人研修会であるとか、去年からそうい

う行事も復活させて、今年度も旗幟を兼ねた懇親会を執行委員、各支部長らと呼んで3年ぶりに開催を予定しています。そういう中で、労組の団結を高めていきたいと考えています。



宇留野 正志

宇留野 茨城では、まず何を勝ち取るかというところで、働き続けられる職場づくりを、ものすごく大きくテーマに掲げています。

ベア自体は20年以上やってなくて、私も経験しなくて、執行委員の中でも経験したのは1人いるかないか、というところではないか、というところもベア獲得は必須の思

6月7日の夏季一時金の大きな団交を前にして、5月31日にストライキを行いました。このストというのは、30分間ですが、全職員に何でストを今やっているのか、このベア評価料が、労働組合の運動や国への働きかけによって診療報酬に盛り込まれたんだというのを伝えつつ、手当ではなくてベアでもらうことの方



全厚労一致団結して春闘たたかうぞ！

6600円でした。この金額はその後7月と9月の団交で、数字が動くことがなく、そうこうしているうちに組合員の声がだんだん薄くなっていった。これは、もうちょっと早いスピードで

からのもので、基本的には会側から出すものではないんだ。よ。それから茨城の場合は、4000万の持ち出しがあるんですが、たかが4000万ですというふうにみんなに言いました。茨城県厚生連は、6病院に看護学校があつて、年間では600億円の収入を得て、その中で内部留保も45%あるんだよっていうところを大きく伝えて、出せないわけはない。取れる財源はあることと、生活給は絶対守りましよう、ということをおみんなに伝えてきました。実際、一時金に関しては大きく揉めることはなく、夏は2・0か月という形になりました。



進藤 侑

秋田

24年ぶりのベア 「都市伝説」扱いだった

進藤 秋田では、まず今回24年ぶりのベアということですが、私も就職してないのですが、それ以来です。以前からいろいろ要求を出してきましたが、その中でずっとベアスナップ、ベアという言葉はずっと出し続けていたんですけれども、財源がない中で難しいと返されてきました。ただ診療報酬の改定があれば考え得るとの理事長の言葉で「私はベアを諦めていない」と、ベア評価料の話が出てきて、ベアへの期待が持てるようになってきました。

私は23年秋に執行委員長になりまして、初めて全厚労の集会に出させていたんですが、それが1年前の12月拡大会議で、他県の役員の話聞いて、特に西日本の方々の勢いだった。秋田頑張れよと発破をかけていただいて、それをまず秋田の方に持って帰りました。今回も春闘でベアがなければいつできるんだと、あとは他の県からもストライキ構えても取るつもり

でいくと、そういう共通の認識でやっていくというのが、秋田の中央執行委員の方にも話をして、春闘ではベアを取りに行くということになりました。

ただ3月18日の第1回団交では、まだベア評価料部分が不確定だったと評もあつたので、基本給を引き上げるのかとか、そういうことに關しては2回目でも交渉したいという話がありました。またその時は、年度末手当は出せないという中だったのが、秋厚労としてはベア確約がなければこの闘争は収束できないということを会側には伝えていました。

2回目の団交が4月に行われて、団交の前の中央闘争委員会の中でも、これで決まらなかったらどうしようとか、どういふうに進んでいくだろうかとやっぱり不安の声のほうが大きかったんですけども、交渉の結果、ベアとして6000円を引き出すことができました。本当は一気にワッと喜ぶのかと思つたんですけど、あまりにもベア自体が都市伝説みたいな感じだったので、交渉が終わってしばらく経ってからだんだんと実感が湧いてきたっていう感じでした。

がメリットが大きい、と伝える意味でも行いました。その後の団交ではベアに対して決着はつきませんでした。最初100円(＋手当6900円)と言われたんです。実は20年前に100円ベアがあつて、今回は前の資料を見て、そこから出したのかぐらいの受け止めで、ちょっと職員の中でバカにしてるじゃねえかと、こんな経営者おかしいだろって結構大きな反響になりました。ある意味、職員に火をつけてくれたかなっていう風に、自分の中でポジティブに捉えました。

それから、「だったらいくらならないけるんだろう」といろいろな人と話しているうちに、いやや4桁は当たり前だね。100円じゃ何も買えないですよ、うまい棒しか買えないなんていう話で、1000円以上は当然ですよって、次の団交の中ではそれ以上を求めました。そうしたら考え直すというような会からの話があり、実際にその後出されたのは400円(＋手当

もう一つが、夏の一時金でベアを頑張れば頑張るほど、そつちにお金を取れたら一時金ももらえなくなっちゃうんじゃないか、という意見も多数ありました。そこはやはり、勉強を皆さんにしてもらうというよりは、こつちから伝えることが大事で、ベア評価料というのは国

職員の働き続けられるためには、お金だけではなくて、本当に諸要求というのが大事だな、と思つて、今も奮

岩本 25年は巳年ということ

岩本 青年が労働組合の繋がりを強化や行動力になっているという話は、将来展望が開け

岩本 25年は巳年ということ

岩本 25年は巳年ということ

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第202回は新潟・山口にお願いしました。



新潟 田中美保さん

村上総合病院で感染管理認定看護師として働いており、今年度より執行委員を務めます。

組合員のみなさんの声を届け、働きやすい職場環境が提供できるように微力ながら精一杯がんばります。

昨年から筆文字を習い始めました。文字を書く時間は、集中して楽しい時間です。言葉には言霊が

宿るといわれています。素敵な言葉を綴っていきたいと思います。
今後も組合の活動にみなさんからご支援の程よろしく願いいたします。
ともに頑張りましょう！

山口県厚生連労働組合の田嶋圭佑です。

趣味と言えるほどではないですが、運動は好きで野球やバレーボールなどの病院行事にはもれなく参加しています。

組合活動は3年目で、今は副中央執行委員長という重責を担わせて頂いております。私たちの組合活動では、職員が長く安心して働ける環境作りを重視し働き甲斐のある職場を提供することで、職員の定着と安定した医療提供を目指しています。

また地域社会と連携した取り組みを積極的に進め、地域の皆様が安心して利用できる医療環境を共に築いていきたいと考えています。

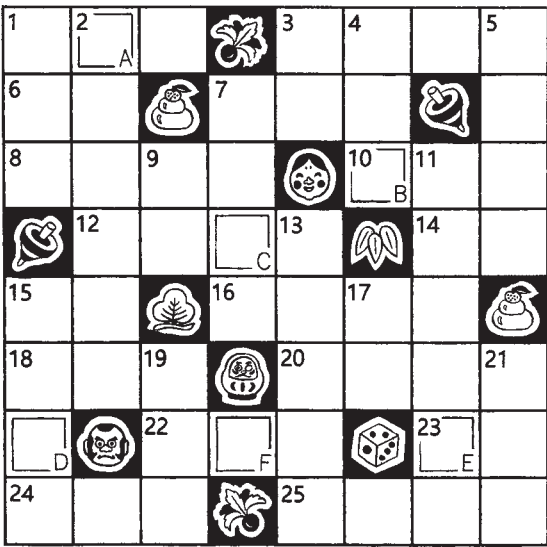
これからも、病院の職員の満足度向上に全力で取り組んでまいります。



山口 田嶋圭佑さん

ザクロスワード

出題▶モロズミ勝



答 A B C D E F

■ヨコのカギ

- ……式たばこ
- 西洋かるた
- かりとも言う渡り鳥
- ゆりかえしの地震
- 他の人に代わってその役をします。……地藏
- 手の指先の内側の線
- 自分の家で使う……車
- 木ネズミとも言います
- ……拓。……影。……群
- 日本海流ともいう暖流
- 邦画の対義語は？
- 不要の物を無理に売りつける人
- ウナギに似た硬骨魚
- 断崖。絶壁
- ……雷火事親父
- 正式名は「駅務員」

■タテのカギ

- 正月にお供えする……もち
- 新年を祝うあいさつ状とればとるほど増えていきます
- 一つのものが二つに見えるたりする目の症状
- 王子。……メロン
- ……を残す。余裕
- 短歌のことです
- 『舞姫』や『高瀬舟』を書いた小説家
- 中途半端な記憶
- 土俵上で力士の勝ち負けを判定します
- ライオン。……舞い
- 室内用の長上着
- 利益を伴う権利

業者トラブル 増えています

「保険使える」ご用心

戸別訪問で「瓦がズレてる。保険が使えるから直した方がいい」など、不安を煽って家の修理を促し、保険が使えない高額修理や法外な報酬請求をされてトラブルになるケースが増えています。とくに台風や大雪、地震など自然災害が発生した後に、トラブルが多くなります。点検



すると言われ屋根に上らせてしまうと、わざわざ屋根を壊す業者も存在します。国民生活センターなどへの相談はこの5年で約3倍にもなっています。

医労連共済に、ご連絡を

保険や共済は災害で壊れた部分のみが保障対象ですが、悪徳業者は経年劣化など対象にはならない部分まで修理をして、虚偽の理由で加入者に保険金や共済金を請求させることもあります。これは詐欺です。業者だけでなく、請求をした加入者も詐欺に加担したとして罪に問われる場合があります。災害で被害がでた場合は、まずはご自身の安全を確保した上で、医労連共済にご連絡ください。



☎0120-160931

全厚労×
全国の活動を
ポスト中！



読者の声、聞かせて・教えて、クロスワードはすべてQRコードよりスマホから投稿できます。氏名・住所・希望景品（図書カード又はクオカード）は必須事項です。

教宣部の つぶやき

脱皮の年に
着道楽かつ気に入った服は着られなくなっても捨てられず、押し入れに溢れています。2024年は「服を買わない」チャレンジをやってみました。結果は……！旅先で浮かれ、ご当地Tシャツを買ってしまい微妙に達成感ならず。25年も買わないチャレンジは続け、お肉を落とし、お気に入りの服を着ていきたいです。
(EN)